

児童と住民でつくる「八郷文化展」

▶▶ キーワード 文化展、学校運営協議会、地域活性化



取組概要

地域の大人と児童が協働し、「八郷文化展」を開催。企画段階から児童が関わり、住民と一緒に文化展を作り上げ、地域活性化に貢献。

取り組みの詳細

- 児童数の減少による統廃合への不安、地域の活力の衰退などの課題解決をふまえ、学校運営協議会で協議。
- 児童の地域への誇りと愛着意識の向上と地域活性化を目的に「八郷文化展」をH29年より開催。
- 初期の文化展では、児童は作品を見るという受け身の関わりだった。
- 学校運営協議会で、児童が文化展を企画・運営する活動に関わることで、自ら課題を発見し、主体的に考え行動する力を育てることができるのではと意見が出た。
- 地域の一員として児童も文化展を盛り上げたいという機運が高まり、6年生が校内でアンケートをとり、企画を考え、それをもとに児童と委員が協議する「八郷アイ会議」を開催した。
- 文化展は児童のアイデアにより作品等の展示だけでなく、昔遊びやワークショップなどの体験コーナーなど、誰もが気軽に参加しやすいものになるよう工夫した。

活動内容

- ・地域住民等、八郷地区に関わりのある方による作品等の展示
- ・児童作品(個人での出展も可) ・園児や中学生の作品 ・昔遊び体験(コマ、けん玉など)
- ・ワークショップ(ミニチュア作り、小筆丸文字体験など) ・水生動物(メダカ、ザリガニ)の展示

成果・効果

- ・児童と学校運営協議会が力を合わせ、協働して地域づくりを目指すことで、児童の主体性や行動力が育つとともに、児童や保護者にふるさと八郷のひと・もの・ことに対する理解と愛着が深まった。
- ・地域と学校、児童と学校運営協議会が連携し、学校という場を核として、地域の活性化を目指すことで、学校と地域の協働がより深まった。

関係者の声

- (委員) 地域の方が学校へ来てくださるきっかけができた。
 (委員) 学校と地域の結びつきが深まった。
 (学校) 自分たちの案で地域が盛り上がり、地域貢献ができた。子どもたちも満足している。

活動データ

- ・対象者：地域住民
- ・企画・運営：学校運営協議会委員、児童、中学生ボランティア

